

岐阜市自然・環境活動ニュース

2012年10月号 その2

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。

岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。

第11回岐阜市まるごと環境フェア開催報告

「岐阜市まるごと環境フェア」は平成14年より開催されており、今年で11回の開催となります。

平成15年度からは実行委員会を組織し、市民・企業・行政が協力してフェアを作り上げています。

このフェアを通して、金華山・長良川に代表される豊かな自然環境を保全し、市民一人ひとりが、ごみの減量化・資源化、省資源・省エネルギーのライフスタイルを構築し、循環型社会の形成に向けて取り組んでいくこととしています。

今年度は「人と自然のつながりって何だったけ？」をテーマに、10月26日(金)～11月4日(日) JR岐阜駅を中心に開催されました。



主なスケジュール・内容

- | | |
|------------|---|
| 10月26日 (金) | バイオマスセミナー
環境フォーラム |
| 10月27日 (土) | 屋外イベント
環境活動顕彰表彰式
環境セミナー
地中熱、太陽光、スマートハウス
ポスター表彰式 |
| 10月28日 (日) | 学生環境会議 |
| 11月4日 (日) | ア・ルゾ ャー子ども会議 |

として特定非営利活動法人 地域再生機構の副理事長であり、岐阜市から郡上市の石徹白に移住し、小水力発電と地域づくりに取んでいる平野彰秀さんに参加いただきました。

会議の冒頭に平野さんより簡単な自己紹介と話題提供があり、「平野さんの実家の周りの田んぼが開発によりなくなったこと、それは平野さんにとって、とても残念なことであったが、開発が人の意志で進められる以上、逆に日本の原風景・田園風景が残るとしても、それは人間の意志で残しうるもの。」というメッセージが添えられていました。



その後、参加者は、簡単なゲームで緊張をほぐした後、「地域の中のエネルギー」というテーマに沿って、20年後に住みたくなる町について、ワールドカフェで話し合いました。



ワールドカフェの最後には、参加者それぞれが心の中でぼんやりと描いている未来像をし、それを未来予想図に書き示して、目指すべき未来像を可視化しました。完成

した未来予想図はグループごとに発表されました。

学生環境会議に参加した学生達は、学生環境会議のフォローアップとして12月8日～9日に愛知県豊田市足助地区の「スゲの里」へ合宿に出かけました。合宿では、学生環境会議で話し合った内容を具体的に体験できる内容となっています。

- ・炭原料づくり体験
- ・地域自然エネルギーの(木の駅プロジェクト)お話し
- ・参加者交流会
- ・バイオガス施設見学
- ・自然エネルギー住宅宿泊(すげの里)
- ・足助地区見学



「学生環境会議」(10月28日)

10月28日(日)にハートフルスクエアG交流サロンで学生環境会議が開催されました。

学生環境会議は、環境について学んでいる学生、環境について興味を持っている学生など、様々な学生が集まり、自分たちの環境に対する考えや環境活動経験などについて率直な意見交換を行い、学生同士のネットワーク作りやそれぞれの意識向上のきっかけになることを目的として開催されています。

岐阜市まるごと環境フェアのイベントの一つとして開催され、今回が6回目の開催となります。

この会議は、企画から運営までを未来塾2050に所属する学生が中心となっており、東海3県を中心とした大学生・高校生のほか、アドバイザー



「アースレンジャー子ども会議」(11月4日)

11月4日(日)にじゅうろくプラザ大会議室で「アースレンジャー子ども会議」が開催されました。

アースレンジャー子ども会議は、岐阜市の未来を担う子どもたちが環境学習などを通じて感じたこと、考えたことについて発表・話し合いをし、互いの意見交換を通じて環境に対する考えを深めてもらうことを目的として開催しています。

岐阜市まるごと環境フェアのイベントのひとつとして開催され、今回が8回目の開催となります。

午前中は7団体の皆さんによる活動発表です。野菜作りの話、リサイクルの話、地域の河川や水路に生息する水生生物の話と内容は多岐にわたっていましたが、いずれの発表でも、単に、調べた・体験した・教わったという内容の発表に留まらず活動をとおして「何を感じたのか?」、「地域についてどう思ったのか?」、「何を伝えたいのか?」といった、子ども達の想いが随所で述べられていました。

また、発表方法もそれぞれの団体が観客に楽しませるための工夫を凝らしており、分かりやすく楽しく発表してくれました。

発表団体

長森南中学校

身近な水と生きものから考える環境学習

イッ柳津店フーズクラブ

リサイクル

芥見子ども会リーダー

身近な川遊びとカワゲラウォッチング

則武子ども会リーダー

則武インリーダーの活動
～野菜作り、漬物工場見学をとおして～

網代っ子自然体験隊

網代地区の水の生き物を調べて

長森西子ども会リーダー

食べ物なぞなぞ研究
食べ物はどこから来るの?

合渡小学校

合渡の川の生き物たち

午後からは、環境クイズ、がやがや会議です。

参加者全員で環境クイズを行って緊張をほぐしました。難問ぞろいでしたが、初対面の子ども同士がヒントを教え合っていた姿が印象的でした。



その後のがやがや会議では、環境に関する4つのテーマごとに、計11テーブルに分かれて、環境について自分たちにできることを話し合いました。各テーブルではボランティアの大学生がサポートをし、子ども達は意見を模造紙に書き込みながら議論を深めていきました。

話し合いのテーマ

- ◆豊かな自然(森・川・海の自然)
- ◆豊かな自然(生き物)
- ◆環境にやさしい暮らし方(省エネ、ごみ減量)
- ◆食べ物と生活(野菜作りなど)



「自分たちはこれからどんな環境で暮らしていきたいのか?」、「そのために自分は何ができるのか?」ということについて、約1時間かけて話し合った結果を、テーブルごとに1つの宣言にまとめて、「岐阜市子ども環境宣言2012」として、グループの代表者が宣言文を読み上げ、岐阜市教育委員会 大塚学校指導課長に手渡し、自分たちが岐阜市の環境のために取り組んでいくことを宣言しました。



〈みんなで考えた子ども環境宣言を持つての記念撮影〉



—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

発行者：岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL：058-265-4141 (内線：6451) FAX：058-267-1374

Email：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>